

世界に冠たる日本の歴史を学ぼう

—— 建国記念の日に憶う

公益財団法人  
新教育者連盟理事長 代田健藏

2月11日は「建国記念の日」です。以前は紀元節と呼ばれていて、古事記や日本書紀に書かれている初代天皇の神武天皇が天皇の御位につかれた日(紀元前660年2月11日、新暦換算を国の始まりとして明治6年に制定されたのでありますが、昭和42年に「建国記念の日」として改正されました。従いまして今年は紀元(国のはじまり)で二六八四年となり、後16年で紀元二七〇〇年の節目の年を迎えることとなります。

肇国以来二七〇〇年の長さというのは世界にも例がなく、世界第2位のデンマークは西暦九〇〇年頃が国の始まりとされていますから、長さはわの方が倍以上の違いがあります。また、お隣の中華人民共和国は四千年、五千年の歴史があると云われますが、その間に易姓革命が何回もあり、現在の中華人民共和国が誕生したのは、昭和24年であり、建国後70年余の歴史で、日本のように皇統連続、万世一系の国柄とは根本的に異なっています。

またわが国は単に歴史が古いだけではなく、誇るべき「建国の理想」をもち、輝かしい歴史を積み重ねてきました。即ち、わが国の国是ともいえるべき「天壤無窮の神勅」及び「皇都経営の詔」は日本人の心に深く刻まれていて、植民地の解放や人種差別の撤廃等はまさに日本の歴史の歩みそのものであります。紙幅の都合で本頁に全てを記述できませんが、以下にエール大学神学部長のポール・S・ピース博士著「日本古典の精神」を紹介いたします。

「人類は五千年の歴史と二度の大戦の惨禍を経験した結果、一つの世界を理想とする。この連綿を結んだが、日本の建国者は、二千年も昔の建国当初に、世界一家の理想を述べている。これは人類文化史上注目されるべき発言であろう」

生命の教育 七つの心得

- 一、子供に宿る善性を信じ、これを引き出し伸ばし、育てます。
- 二、どの子の個性も尊重し、この世に生まれた使命を生かします。
- 三、よい習慣をしつづけて、正しいしつけをいたします。
- 四、問題の子供は心の病氣、実は優柔児の仮の姿で、親方を一転します。
- 五、親が変われば子が変わる。何よりもまず、明るい家庭をつくります。
- 六、いつもニコニコ、やさしいコトバ、認めてほめて、たたえます。
- 七、花咲くことを疑わず、信じて気ながに育てます。



自分に誇りをもち 親に誇りをもち 祖国日本に誇りをもち 青少年を育成する

責任編集  
公益財団法人 新教育者連盟

# 生命の教育

「生命の教育哲学」創始者 谷口雅春先生御揮毫

令和 6年 2月号 もくじ

巻頭のこぼれ 新教育者連盟理事長 代田健藏  
世界に冠たる日本の歴史を学ぼう



谷口雅春  
菊池正規  
森 冴子  
中村希利奈

## 特集 私たちは見えない力に生かされている

- 5 子供が神秘として感じる心を大切にしよう
- 8 「与えれば与えられる」力に生かされている
- 10 見えない力に感謝!
- 12 大地は神、根は先祖、幹は両親、枝葉は子孫

### 16 《シリーズ》生命の教育とは(9)

(公財)新教育者連盟理事長 代田健藏

- |   |  |
|---|--|
| 18 建国記念の日をお祝いしましょう  | 浅川正人                                   |
| 19 子育てワンポイント(80) 茶の湯に親しむ  | 出口正博                                   |
| 20 子育てQ&A 塾へ通わせたいが行きたがらない<br>思春期の娘との接し方に困っている<br>子育てに協力してくれない夫<br>サッカー少年団で仲間外れの息子<br>内気で何事にも消極的な娘 | 大原和子<br>小林義典<br>杉山紀代子<br>鎌倉弘行<br>執行ひろみ |
| 25 子育ては母育て(135) 発熱に対する心構え③  | 田下昌明                                   |
| 26 世界がおどろく日本の魅力(36)<br>「寒」が生み出す日本独自の生活と文化   | 井上雅夫                                   |
| 27 日本国憲法の問題点(100) 教育勅語を教材として使うのは当然だ<br>日本のしきたり(74) 「春を待つ」   | 勝岡寛次<br>辻川牧子                           |
| 28 親子で読むものがたり(137) 子供たちの支えになりたい(2)  | 千葉ひろ子                                  |
| 30 広がる仲間の輪——喜びの声—— 日本人として生まれてきたことに誇りを持つ   |  |
| 31 新教連活動あらかると<br>◇ 読者の声、第4回小・中学生による作文受賞者発表および作文紹介 ほか<br>◇ 2月の支部行事                                 |  |
| 34 事務局短信・編集後記・次号案内  |  |